NIE実践報告

1．タイトル：「新聞」を読もう・利用しよう

2．学校名

札幌市立北九条小学校

3．実践者名（代表者名）

佐藤　元昭

4．学年

6年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　　児童 26人

6．単元（本時の学習課題）名

人々の願いとまちづくり

7．目標(狙い)

「市民ホール」の早急な建設の理由を考え、当ホールが市民の思いに合致した施設であることに気づき、まちづくりには、市民の思いが込められていることがわかる。

8．評価の視点

自分の課題をもって追求し、新聞などの資料を活用して調べることができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

人々の願いとまちづくり（教科書：教育出版）[社会５時間]

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

＜前時まで＞
札幌市市民ホールの建設について、また市民ホールについて調べている。

＜本時＞
・市民会館閉館後に、すぐに市民ホールを建設したことを提示する。（新聞記事提示）
　市民ホールを利用した感想を数人交流する。
・新複合施設建設に関する新聞記事（北海道新聞２００９，６，３）を読み感想を交流。
◎学習問題「札幌市はなんで複合施設をつくることにしたのだろう？」
・「複合施設」と「高機能ホール」という言葉に着目し考えていく。
○「市民ホールの管理維持費は年間３億円」
・この事実を提示し、それならば最初から複合施設をつくってしまえばいいことを問う。
まとめ

11．児童・生徒の反応、感想・意見

実際に行ってみた施設について、どのようにしてできたのか、そしてそこにはどんな札幌市側のねらいがあったのかを考える活動を通し、身近にこのことを考えることができた。

12．成果と課題

＜成果＞
新聞時記事を提示することで、社会時事問題を知ることができ、身近に事例を感じ、考えることができた。
＜課題＞
子どもたちは、新聞に読みなれていない。学級に新聞コーナーをつくり、新聞と日々触れ合うことができるようにしたが、授業で資料として子どもたちが新聞を読み進め考えていくことは難しい。新聞を資料として読み取れるように日頃から教師のかかわりが必要であり、どういうポイントで読み進めていくのか指導していく必